日本慢性期医療協会

JAPAN ASSOCIATION OF
MEDICAL AND CARE FACILITIES

第１０回
「慢性期 ICU」
看護レベルアップ研修
開催のご案内

これからの慢性期病床では、長期急性期医療の提供をはじめとした、急変時、救急時の対応が強く求められるようになります。平成 23 年2月からスタートいたしました「慢性期 ICU」看護レベルアップ研修では、最新設備を駆使したトレーニングが大好評をいただき、今後の企画への期待もたくさん寄せられました。これは、「慢性期 ICU」という高度急性期からの医療を引き継ぐ、長期急性期医療等の質の向上が急務であるという当協会の問題意識について、広く共感を得ることができたためであると考えております。

本研修のトレーニングの中心は、臨場感あふれるシナリオシミュレーションとロールプレイングによって現場スタッフの心理状態を追体験するというもので、すでに基本的な知識や技術を習熟された看護師の方々を対象とした少数精鋭の研修となっております。現場で直面する業務をあらためてふりかえることにより、普段行っている指導内容にさらに磨きをかけていただければと思います。

皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

日本慢性期医療協会　会長　武久洋三

開催概要

日　程	平成 26 年 7 月 12 日（土）　13：00〜21：00 13 日（日）　9：00〜15：15　（全２日間）
会　場	テルモ　メディカルプラネックス 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口 19001（小田急線「秦野駅」よりタクシー 10 分）
対　象	看護師　36 名限定
修了証	2 日間のプログラムを終了された方には、修了証を授与いたします。 ※「慢性期医療認定病院」更新要件として、4 単位が加算されます。
参加費	会員 80,000 円／会員以外 100,000 円 ※1 日目宿泊・夕食費、2 日目朝・昼食費、ホテル⇔会場間の送迎代を含みます。
申込締切	平成 26 年 6 月 19 日（木）　※定員に達し次第、締切とさせていただきます。
申込方法	本リーフレットの参加申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX にてお申し込み下さい。
企　画	日本慢性期医療協会　看護委員会
主　催	日本慢性期医療協会 〒1620067　東京都新宿区富久町 115　シャトレ市ヶ谷２階 TEL 03-3355-3120　FAX 03-3355-3122 E-mail info@jamcf.jp　ホームページ http://jamcf.jp　日慢協ブログ http://manseiki.net/

研修内容

＊本研修の会場となるテルモメディカルプラネックスには、手術室、病室、処置室、在宅、人体モデルなどが設備され、現場そのものを再現できる緊張感の中でシミュレーション研修を行うことができます。
＊1グループ6名が6つのプログラムをローテーションし、研修を行います。

コーディネーター

日慢協事務局次長　富家隆樹（富家病院理事長）、日慢協理事　藤﨑剛斎（国分中央病院理事長）

プログラム項目

1 病棟における急変対応　–シナリオシミュレーション–
病棟において重症患者が急変した状況下で適切にアセスメントし、対処できるか。

2 病棟における多重課題　–シナリオシミュレーション–
病棟において複数の患者の状態変化が同時に起きた状況下で、安全で的確な対応ができるか。

3 在宅における緊急対応　–シナリオシミュレーション–
訪問看護時の不測の事態に適切な対応ができるか。

4 急変した患者の家族対応　–ロールプレイング–
患者家族に対して、患者急変時の対応および処置について分かりやすく適切な説明をすることができるか。

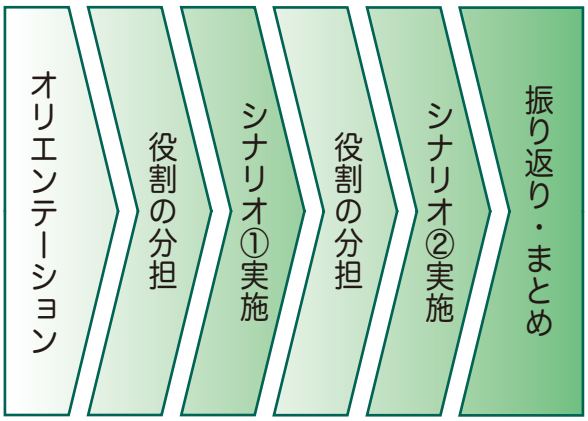
5 フィジカルアセスメント　–演習–
患者の状態を確認し、疾患名を予測した上で、確定診断にどのような検査が必要かを予測する。

6 スキルトレーニング・展示室見学

研修の流れ

シナリオシミュレーション

1グループ6名を3名ずつ2班に分け、3名が演習参加者、3名が評価者となり演習を行い、演習後に映像を見ながら振り返りを行います。
その後、演習参加者と評価者の役割を交代し、別のシナリオで演習を行います。



＊ロールプレイングのプログラムでは、2名ずつロールプレイングを行い、その後、映像を見ての振り返りを行います。

タイムスケジュール

第1日目　7月12日（土）

12：15	グランドホテル神奈中 秦野　集合・出発
12：30	テルモ メディカルプラネックス到着・更衣
13：00	オリエンテーション
13：15	トレーニング
17：45	まとめ
18：00	更衣・テルモ メディカルプラネックス出発
18：35	グランドホテル神奈中 秦野　到着
19：00	1日目のふりかえり・夕食

第2日目　7月13日（日）

8：15	ホテル出発
8：30	テルモ メディカルプラネックス到着・更衣
9：00	トレーニング
12：00	昼食
13：15	トレーニング
14：30	総括
15：00	更衣・テルモ メディカルプラネックス出発
15：35	小田急小田原線「秦野駅」到着

受講者の声

「慢性期 ICU 看護」レベルアップ研修　参加者アンケートより

- 「病棟における急変対応」では、頭では状況がわかっていても**焦ると何もできない。**その時にどうするべきか、しっかりと判断できていたのか振り返りたい。
- 「病棟における多重課題」では**パニック**になってしまったが、その中でも**優先順位**を考えて適確に行動・処置ができたと思う。これらの経験を実際の臨床の場でも活かしていきたい。
- 「急変した患者の家族対応」は**心理的に苦痛を伴う**演習でした。勤務している病棟は高齢者が多いため急変に立ち会うことも多く、動揺している家族への対応を行うこともあるので、家族の心理を考えながら**冷静に対応する**ことの大切さを体験できました。
- 在宅での緊急対応の難しさを知りました。**限られた道具や環境**の中で、救急隊員が来るまでに**できることを正確に**行わなければいけないと感じました。急変にあせってしまいますが、患者・家族へ落ち着いて説明できる**精神力**をつけなければならないと感じました。
- フィジカルアセスメントでは、1つの事例に対して「疾患はこれだ」と**決めつけて**しまっていたが、問診や全身の状態をみて、**幅広い範囲から原因を絞っていく**事が大切だと学ぶことができました。
- 各トレーニングを終える度、**「疲れた、大変だった、もうイヤだ」**という感想でしたが、2日間を終えて振り返ってみると、**とても内容の濃い、楽しい研修**でした。シナリオに圧倒されましたが、とても現実味のある貴重な体験をすることができ、この場に来れたことが**ラッキー**でした。
- **尋常ではない緊張感**の中での研修でしたが、心地よい疲労感で、とても楽しく過ごす事ができました。これからの**業務に大いに役立つ**でしょうし、役立たせていかなくてはいけないと感じました。
- **「リアル感がすごい」**の一言に尽きます。場面の設定が実際に起こりうる状況であり、もし実際の場面で起きたら**対応可能であるか不安**な場面もありました。このようなリアリティ溢れる研修は本当に貴重であると感動しました。
- 現場での自分の動きをビデオで見る。メンバーから意見をもらう。**様々なアングルから自分を見る**ことができました。研修の内容もハードでしたが濃く充実していて、初対面のメンバーとも、**1日半で信頼関係がばっちり**でした。
- 今までに受けた様々な研修の中で、**一番充実している**と感じる研修でした。普段の業務として現場で実施していることでも、1つ1つ**課題を設けて実践**すると、自分に不足しているところやメンバーのよいところに気づくことができました。
- ストレスのかかるシナリオシミュレーションでしたが、とても身になる研修でした。
  最新設備の会場で、**全国から集まった看護師と交流できた**ことなど、**得るものが多い**研修です。
- この研修を通じて仲間と出会い、勉強をすると、日々の苦労が報われる気がして、うれしくて楽しかったです。はじめはどうなることかと不安でしたが、仲間の協力のおかげで乗り越えることができました。
  「日本にはすばらしい看護師がたくさんいるんだ」と自信になりました。